

ジャパンマスタース2017のご案内

(第34回日本マスタース水泳選手権大会)

本年度のジャパンマスタースは、1,249チーム・4,946名の参加になりました。多数のお申し込みありがとうございました。

本大会の全競技を円滑に4日間で終了するためには、参加者の皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、参加者一人一人の皆様に下記の事項についての周知徹底をよろしく申し上げます。

1. 大会会場	2
2. 大会日程／競技スケジュール	3
3. 会場案内図	4
4. IDカード・付添票／受付／チームリーダーミーティング	5
5. 競技について	6
6. ウォーミングアップ／公式スタート練習	8
7. 招 集	9
8. リレー種目	10
9. 表彰／記録	11
10. 申 告	12
11. 施設利用上の注意	13
12. 健康管理	14
13. そ の 他	15

- * 撮影許可申請書の提出について
- * 貴重品保管用ロッカーのご案内
- * 付添票について
- * リレーオーダー変更届
- * 出場申告用紙
- * レース前の安全確認

1. 大会会場

「東和薬品 RACTAB ドーム (大阪府立門真スポーツセンター)」

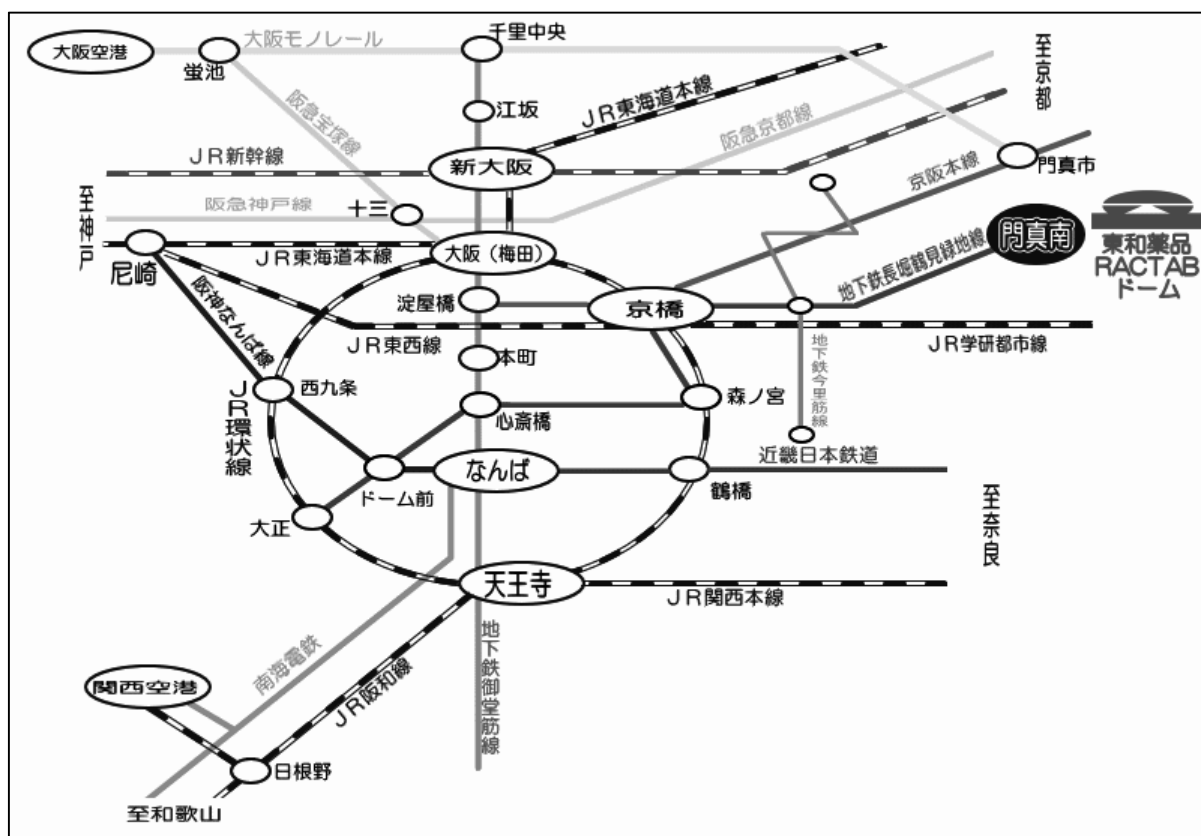
(公認 50m × 10レーン)

大阪府門真市三ツ島3-7-16

< 交通機関 >

- 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」2番出口すぐ

(新大阪駅より約40分、伊丹空港より約60分)



< 大会期間中の問い合わせ先 >

080-7943-4321 (受付時間: 各日とも開場時間~閉館時間)

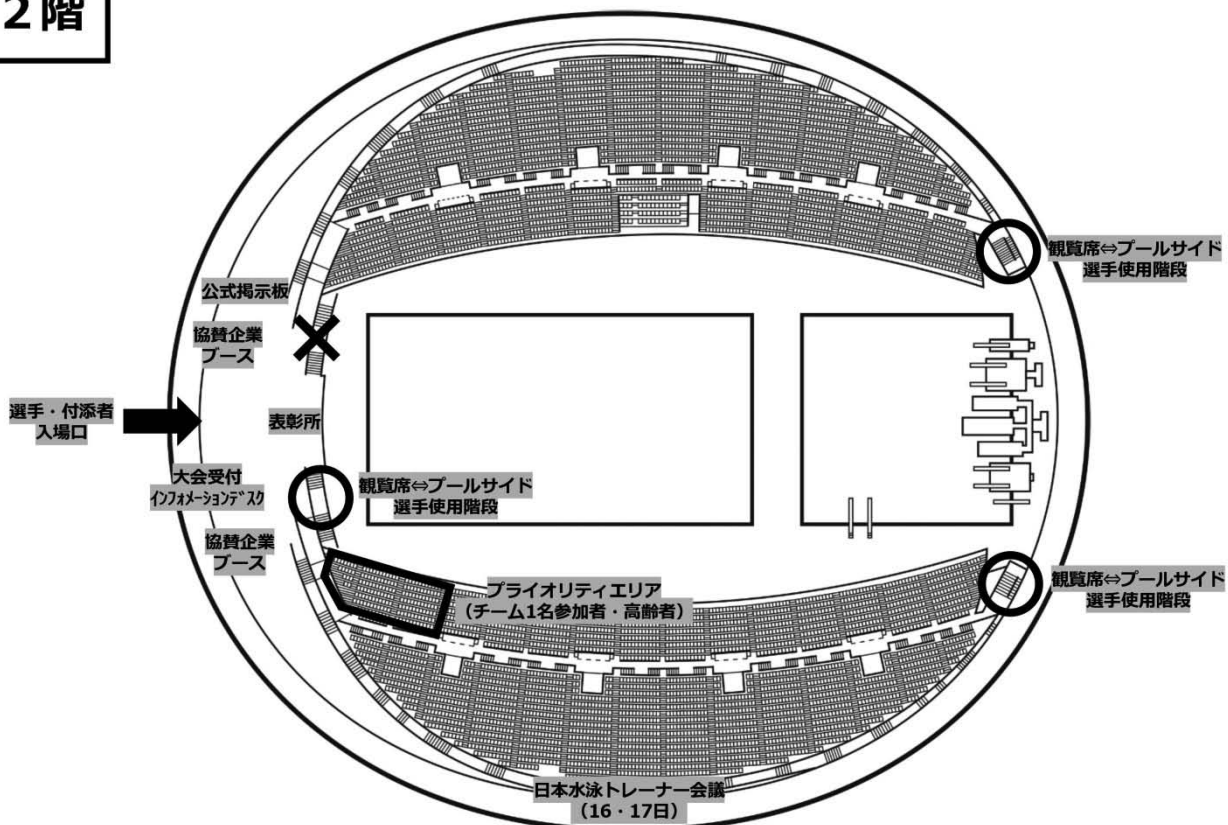
- ※ 大会期間中14日~17日のみ有効な電話番号です。
- ※ 大会開催前・終了後は日本マスターズ水泳協会(03-3512-8221)まで。
- ※ 本大会について東和薬品 RACTAB ドームへ問い合わせを行うことはおやめください。

2. 大会日程／競技スケジュール

7月13日 (木) 公式練習日	開 場 メインプールアップ サブプールアップ 公式スタート練習 閉 館	14:45 15:00~17:00 使用不可 16:00~16:30 17:30	ウォーミングアップのみ 競技実施はありません		
7月14日 (金) 大会1日目	開 場 メインプールアップ サブプールアップ 公式スタート練習 競 技 開 始 競 技 終 了 メダル受渡し終了時間 閉 館	7:30 7:35~8:45 7:35~競技終了 8:25~8:45 9:00 18:27 18:50 19:00	No	種 目	予定時間
			1	女子 100m平泳ぎ	9:00
			2	男子 100m平泳ぎ	10:04
				世界記録突破表彰(予定)	10:59
			3	女子 50m背泳ぎ	11:02
			4	男子 50m背泳ぎ	11:59
			5	混合 4×50mフリーリレー	12:35
			6	女子 400m自由形	12:55
		15:38			
			終了予定	18:27	
7月15日 (土) 大会2日目	開 場 メインプールアップ サブプールアップ 公式スタート練習 競 技 開 始 競 技 終 了 メダル受渡し終了時間 閉 館	7:30 7:35~8:15 7:35~競技終了 7:55~8:15 8:30 19:42 20:05 20:15	8	女子 100m自由形	8:30
			9	男子 100m自由形	8:33
				世界記録突破表彰(予定)	10:56
			10	女子 50mバタフライ	10:59
			11	男子 50mバタフライ	11:01
				30・20回、10年連続出場者表彰	12:25
			12	女子 100m背泳ぎ	13:00
			13	男子 100m背泳ぎ	14:37
			14	女子 4×50mメドレーリレー	15:43
			15	男子 4×50mメドレーリレー	16:13
		16:42			
		16:49			
			終了予定	19:42	
7月16日 (日) 大会3日目	開 場 メインプールアップ サブプールアップ 公式スタート練習 競 技 開 始 競 技 終 了 メダル受渡し終了時間 閉 館	7:30 7:35~8:15 7:35~競技終了 7:55~8:15 8:30 19:23 19:45 19:55	18	女子 200m背泳ぎ	8:30
			19	男子 200m背泳ぎ	9:54
			20	女子 50m自由形	11:20
			21	男子 50m自由形	11:27
				世界記録突破表彰(予定)	14:46
			22	女子 4×50mフリーリレー	14:49
			23	男子 4×50mフリーリレー	15:19
			24	女子 50m平泳ぎ	15:48
			25	男子 50m平泳ぎ	15:51
				世界記録突破表彰(予定)	18:01
		18:04			
		18:10			
			終了予定	19:23	
7月17日 (月) 大会4日目	開 場 メインプールアップ サブプールアップ 公式スタート練習 競 技 開 始 競 技 終 了 メダル受渡し終了時間 閉 館	7:30 7:35~8:45 7:35~競技終了 8:25~8:45 9:00 14:43 15:05 15:15	28	女子 100mバタフライ	9:00
			29	男子 100mバタフライ	9:03
				世界記録突破表彰(予定)	9:57
			30	混合 4×50mメドレーリレー	10:00
			31	女子 200m自由形	10:24
			32	男子 200m自由形	10:28
			33	女子 200m個人メドレー	12:31
			34	男子 200m個人メドレー	12:37
		14:43			
			終了予定	14:43	
			世界記録突破表彰(予定)		

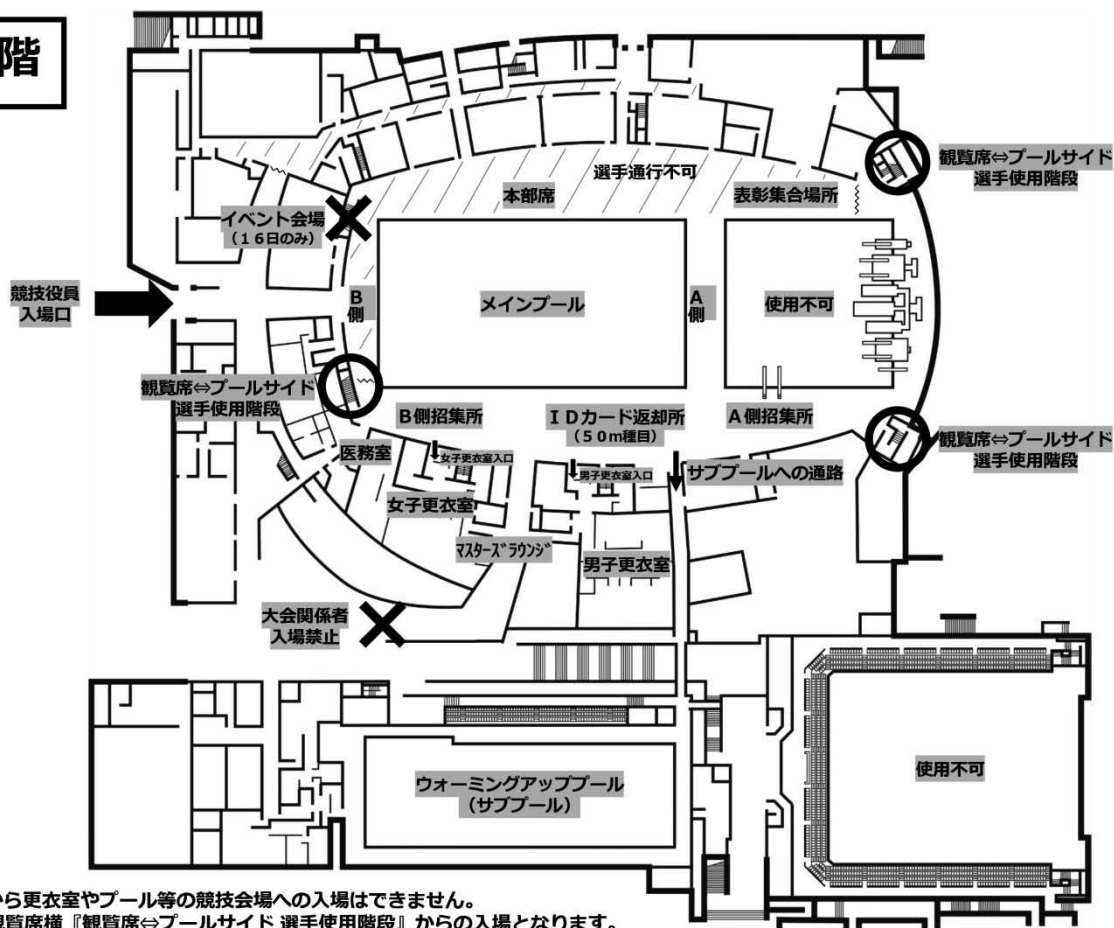
3. 会場案内図

2階



※ 観覧席から更衣室へは3カ所の『観覧席⇔プールサイド 選手使用階段』からプールサイドへ降り、プールサイド側入口から入場してください。

1階



※ 1階から更衣室やプール等の競技会場への入場はできません。
2階観覧席横『観覧席⇔プールサイド 選手使用階段』からの入場となります。

4. IDカード・付添票／受付／チームリーダーミーティング

< IDカード・付添票 >

- (1) 参加選手は、2次要項と一緒に届くIDカードを必ずお受け取りください（チーム責任者は、必ず各選手にお渡しください）。
IDカードは、ジャパンマスタース2017の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場、招集受付、メダルの受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、会場では首から下げるなど見える位置に必ず携帯してください。
- (2) IDカードには以下の項目があり、1つでも未貼付・未記入があると参加できません。
 - 顔写真（表面）
選手の顔が判別できる写真（3cm×4cm）を必ず貼付してください。
 - 誓約書（表面）
誓約項目を確認のうえ、署名をしてください。
 - 大会当日緊急時の連絡先（裏面）
参加選手のご家族に緊急の連絡を要する場合に連絡の取れる連絡先を記入してください。
- (3) 「IDカード」「顔写真」を紛失および忘れた場合は再発行所にて再発行を受けてください。再発行料として各500円が必要となります。
- (4) チーム用に1枚「付添票」が同封されています。不足の場合は、別紙「引率・応援者入場受付用紙」をコピーのうえ、必要事項を記入し持参してください。必要とする本人が選手・付添入場口に提出し、付添票をお受け取りください。

< 受付 >

本大会は「チーム受付票」はありません。

参加章・プログラム（予約分）は下記の手順で、大会期間中に大会受付にてお引き換えください。大会終了後の引き換えや引換券のない場合の引き換えは、一切行いません。

- 参加章
同封の「参加章引換券」を代表者が大会受付に提出し、参加人数分とお引き換えください。
- プログラム（予約分）
同封の「プログラム引換券」は予約冊数分の枚数が同封されていますので、購入者本人または代表者がまとめて大会受付に提出し、お引き換えください。

プログラムに記載されている氏名・種目等を必ず確認してください。プログラムの印刷ミスがあった場合は、チーム責任者が指定用紙に記入のうえ、該当競技の開始2時間前までに、インフォメーションデスクに提出してください。

※ 指定用紙はインフォメーションデスクにあります。

< チームリーダーミーティング >（監督者会議）

- 7月13日（木） 15：45～16：00 A側招集所
- 7月14日（金） 8：20～8：30 A側招集所

競技についての詳細と変更事項をご連絡します。

必ずチームの代表者または代理の方が出席し、連絡事項を出場選手全員に伝えてください。

※ 15日以降、変更事項・連絡事項がある場合は公式掲示板にてお知らせします。

5. 競技について

< 競技方法 >

- (1) 本大会は2017年（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り行います。
- (2) 男女別（混合リレーを除く）および原則として、
- ① 50m・100m種目
年齢区分別にエントリータイムの遅い組から順に進めます（一部調整組有）。
 - ② 200m種目
年齢区分に関わらずエントリータイムの遅い組から順に進めます。
 - ③ 400m自由形
60歳以上と59歳以下に分けた年齢区分別にエントリータイムの遅い組から順に進めます。
- (3) リレー種目は、デッキシーディング（当日組み分け）を行います（詳細は、P10「8. リレー種目」を確認してください）。
- (4) 競技の進行は、
- ① 14日
原則A側（ダイビングプール側）より、先に女子の組をすべて行い、終了後に男子の組をすべて行います。ただし、50m背泳ぎは女子・男子ともにB側（電光表示板側）より行います。
 - ② 15日～17日
原則A側より女子の組、B側より男子の組を交互に行いますが、競技進行上の理由によりスタート場所を変更して行う組があります（プログラムに記載、それ以外を変更する場合は公式掲示板にて発表します）。
ただし、背泳ぎ種目はA側より、先に女子の組をすべて行い、終了後に男子の組をすべて行います。
 - ③ リレー種目
すべてA側より行います。混合種目を除き、先に女子の組をすべて行い、終了後に男子の組を行います。

	女子	男子	リレー
14日（金） 大会1日目	A 側 背泳ぎ：B側		
15日（土） 大会2日目	A 側 ※一部調整組有	B 側 背泳ぎ：A側 ※一部調整組有	A 側
16日（日） 大会3日目			
17日（月） 大会4日目		B 側 ※一部調整組有	

- (5) 出発合図は『take your mark(s)』で行います。従来の『ようい』から変更となりますので注意してください。
また、バックプレート付スタート台・バックストロークレッジを使用します。
- (6) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。

- (7) 競技時間はあくまで予定です。競技時間は競技の進行状況により前後します。電光表示板には、A側・B側での実施種目と組が表示されています。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、競技の進行を確認し遅れることのないよう招集所へお越してください。
スタートリスト・競技予定時間は、本協会ホームページで公開しています。

< スタート >

- (1) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお願いします。
- (2) 前の組がスタートしたらただちにスタート台の後ろに並び、折返監察員にご自分の名前を伝えてレーンを確認してください。
- (3) メインプールでの水浴びは禁止です。水浴びは各レーンのプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。
- (4) スタート台のバックプレートの調整は選手席に入った後、ただちに行ってください。審判長の笛の合図後にバックプレートの調整を行うことで競技を遅延させた場合は、スタートの遅延行為と判断され失格になる場合があります。
- (5) バックストロークレッジの高さの調整も選手席に入った後、ただちに行ってください。また、使用しない場合は折返監察員に申し出てください。

バックプレート付スタート台、バックストロークレッジについての詳細は、別紙で確認してください。

< プールからの退水方法 >

- (1) 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。
- (2) 50m種目（背泳ぎを除く）の退水は、レーンロープにつかまり水中で待機し、次の組がスタートした後に競技役員の指示に従い、横から退水します。（オーバー・ザ・トップスタート）
- (3) 1～5レーンの泳者は1レーン側、6～10レーンの泳者は10レーン側プールサイドから退水してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。

6. ウォーミングアップ／公式スタート練習

- (1) 大会期間中は、メインプール、サブプールの定められた時間で、ウォーミングアップが可能です。ウォーミングアップ時間は、下記一覧を参照してください。
- (2) ウォーミングアップ時のメインプールの7～10レーンは、両側よりダッシュレーン（スタート専用）とします。
- (3) 公式スタート練習は、14日・17日は8：25～8：45、15日・16日は7：55～8：15にメインプールの指定レーン（7～10レーン、両側から20mまで）で行います。指定レーン変更の場合は当日通告より発表します。
なお、公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- (4) メインプールでのウォーミングアップならびに公式スタート練習の際に、バックストロークレッジを設置（14日：B側9・10レーン、15～17日：A側9・10レーンを予定）します。使用方法等は、競技役員に確認してください。

	ウォーミングアップ			公式スタート練習
	メインプール	サブプール	ダイビングプール	
14日（金） 大会1日目	7：35～8：45	7：35～競技終了	使用不可	8：25～8：45
15日（土） 大会2日目	7：35～8：15			7：55～8：15
16日（日） 大会3日目				7：55～8：15
17日（月） 大会4日目	7：35～8：45			8：25～8：45

< サブプールの使用について >

サブプールの1レーンは女性専用レーン、2・3レーンはゆっくり泳ぐ方専用レーン（目安：50m45秒以上）、7レーンをダッシュレーン（スタート専用）とします。案内表示に従って使用してください。

7. 招 集 ※ リレー種目についての詳細はP10「8. リレー種目」を確認してください。

- (1) 招集所は、各々のスタート側の10レーン側にあります。
各種目で使用する招集所は以下のとおりです。

	A側（ダイビングプール側）	B側（電光表示板側）
14日（金） 大会1日目	男女すべての種目 （一部を除く）	男女背泳ぎ種目
15日（土） 大会2日目	女子の種目 男子の背泳ぎ種目 リレー種目 ※一部調整組有	男子の種目 （一部を除く）
16日（日） 大会3日目		※一部調整組有
17日（月） 大会4日目	女子の種目 リレー種目 ※一部調整組有	男子の種目 ※一部調整組有

- (2) 招集所では、「種目名・〇組・選手名」がスクリーンに表示されます。ご自分の出場する組が表示されたら、ただちに、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をし、水着の確認を受けて、指示に従い並びます。この時に選手確認のため、IDカードを提示してください（名前や署名欄が確認できるようIDカードケースにはIDカード以外は入れずに提示してください）。
- 招集では、IDカードが必要です。また、リレー種目はデッキシーディング種目のため、インフォメーションデスクで受け取った「出場票」も忘れずにお持ちください。
- ※ ご自分の組・レーンは忘れないように、また、間違いのないように申告してください。組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となります。
- ※ IDカードの誓約書欄に署名のないもの、緊急時の連絡先の記入がないもの、写真の貼付がないものは無効です。
- (3) 招集所へは、ご自分の出場する種目、組の10レース前までに（50m種目は、20レース前までに）お越しください。電光表示板には現在行われている競技種目と組が表示されますので、必ず確認のうえ、招集に遅れないように注意してください。
- ※ 14日最初の種目および17日男女最初の種目の招集は8：45より、15日男女最初の種目および16日最初の種目の招集は8：15より開始します。
- ※ 15日（土）は30回・20回・10年連続出場者の表彰のため50mバタフライ終了後、競技を一時中断します。
女子100m背泳ぎの招集は12：45頃より開始します。
- (4) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (5) 競技進行上の理由で、スタート場所が変更になった組に出場する選手は、招集場所もスタートと同じ側に変更となります。
- (6) 50m種目に出場された選手のIDカードは、IDカード返却デスクにて返却します。レース終了後、必ずIDカード返却デスクに立ち寄り、ご自分のIDカードを確認しお持ち帰りください。
毎年取り違いによるトラブルが多く発生しています。他の選手のIDカードと間違わないように注意してください。

8. リレー種目

- (1) リレー種目は、デッキシーディング種目です。
デッキシーディングとは当日に出場の意思が確認されたチームのみで組み分けをすることです。出場当日、決められた時間までに出場の意思をインフォメーションデスクに申告しなければ、棄権扱いとなり出場することができません。
- (2) 出場チームは、競技当日にチーム責任者またはリレーチームの代表者が、締切時間までにインフォメーションデスクへ同封の「リレーデッキシーディング申告票」を提出し、「出場票」を受け取ります。なお、リレーオーダーを変更する場合（締切時間内に1回のみ）は、同時に「リレーオーダー変更届」を提出してください。
※ 同封の「リレーデッキシーディング申告票」でオーダーを確認してください。
※ 種目、年齢区分の変更はできません。
※ 同一リレー種目には、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。
※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。
- (3) デッキシーディング締切時間後に組み分けを行います。
組み分けは、原則として競技開始予定時間の1時間前に公式掲示板に発表します。
組み分け確認後、受け取った「出場票」に、組・レーンを記入してください。
- (4) 招集所へは、「IDカード」と「出場票」を持参のうえ、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることができません。
- (5) デッキシーディング締め切り後に棄権する場合は招集所まで、必ず理由を添えて申し出てください。
- (6) リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、出場申告用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクへ申告してください。申告がなく水中からスタートした場合は、失格になります。
※ 世界記録の突破を目指しているチームの第2泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートを行ってください。
- (7) 「リレーデッキシーディング申告票」・「出場票」を紛失および忘れた場合は、インフォメーションデスクにて再発行を受けてください。再発行料として各500円が必要となります。
- (8) デッキシーディング締切時間・リレーオーダー変更届提出締切時間

	種 目			締切時間
14日（金）	No. 5	混合	4×50mフリーリレー	10：30
15日（土）	No.14	女子	4×50mメドレーリレー	13：45
	No.15	男子	4×50mメドレーリレー	14：15
16日（日）	No.22	女子	4×50mフリーリレー	12：45
	No.23	男子	4×50mフリーリレー	13：15
17日（月）	No.30	混合	4×50mメドレーリレー	8：15

9. 表 彰 / 記 録

- (1) 出場選手全員に参加章を授与します。
- (2) 公認された記録について公認記録証を授与します。
※ 公認記録証は大会終了後、記録を印字してチーム責任者宛に送付します。
- (3) 各種目の年齢区分ごとに、個人種目1～8位、リレー種目1～3位にメダルを授与します。以下の時間にメダル授与式を行いますので、IDカードを持参のうえ表彰所にお越しください。なお、指定時間以外はIDカードを持参のうえ、メダル引換証を発行し表彰所でお受け取りください。
- ※ メダル授与式には、種目・年齢区分での時間指定はありません。お好きな時間にお越しください。
 - ※ メダル授与式の模様はスイミングマガジンのカメラマンが撮影し、後日 <http://www.sportsclick.jp/photo.html> より購入が可能となります。
 - ※ メダル引換証には、発行した時点で獲得しているメダルの一覧が印字されます。リレー種目はチームにまとめてではなく、各泳者のメダル引換証に印字されます。
 - ※ メダル引換証は該当種目につき1度しか発行できません。紛失しないように注意してください。

	時間
14日(金) 大会1日目	11:00 ~ 12:00
	14:00 ~ 15:00
	17:00 ~ 18:00
15日(土) 大会2日目	9:00 ~ 10:00
	15:00 ~ 16:00
	18:00 ~ 19:00
16日(日) 大会3日目	9:00 ~ 10:00
	12:00 ~ 13:00
	15:00 ~ 16:00 18:00 ~ 19:00
17日(月) 大会4日目	9:30 ~ 10:30
	11:00 ~ 12:00
	13:00 ~ 14:00



<今大会のメダルデザイン>

- (4) 各種目の男女すべての組の競技終了後、1時間後を目処にその種目の男女別、年齢区分別のランキングを公式掲示板に掲示します。
なお、本協会ホームページにも各種目の男女すべての組の終了後、その種目のランキングを掲載します。
- (5) 参加標準記録が設定されている200m、400mの個人種目については、競技結果（レースタイム）が各々の参加標準記録を超過した場合は、表彰対象とならず、メダルの授与は行いません（記録は公認）。
また、エントリータイムと競技結果の差が、200m種目1分00秒、400m種目2分00秒以上の場合も表彰対象とはなりません（記録は公認）。その差が、200m種目2分00秒、400m種目4分00秒以上の場合は、インターフェア行為で失格となり、記録も公認されません。
- (6) 日本記録・世界記録の公認には、FINA承認水着の着用が必要です。FINA承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。世界記録を突破された場合、競技終了後、水着着用の写真を撮影します。また、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピー」または「住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要になりますので準備してください。
※ 水着の規定については、本協会ホームページで確認してください。

- (7) マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録樹立証」を、国際水泳連盟（F I N A）認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手およびリレーチームには「世界記録突破証」を表彰式にて授与します。
- ※ 世界記録表彰は、世界記録を突破した競技終了後の表彰時間に行ないますので、予定時間の前に本部席にお越しください。（P 3「2. 大会日程／競技スケジュール」参照）
 - ※ 日本記録表彰は、2階表彰所で行います。競技役員の指示に従ってください。
- (8) 30回・20回・10年連続出場者表彰の表彰対象になっている方は、同封の当日のご案内を確認してください。

10. 申 告

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間の1時間前までにインフォメーションデスクへ申告してください。

「出場申告用紙」が必要な申告

- テープ等をされる方
 - ※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
 - ※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告しても許可できません。
- 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
 - ※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- 出場に介助が必要な方
 - ※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。
- リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
 - ※ 世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。詳細は、P 10「8. リレー種目（6）」を確認してください。

「世界記録申請用紙」が必要な申告

- 世界記録に挑戦される方およびチーム
 - ※ 「世界記録申請用紙」に必要事項を記入のうえ、申告してください。なお、リレー種目の第1泳者として挑戦される方も必ず申告してください。

< 異議申し立てについて >

異議申し立て（抗議書の提出）は、チームの責任者が行ってください。

競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のある時はそのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、**抗議料5,000円**を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で裁定します。また、**抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。**その他、違反内容の問合せについては選手本人からでも可能です。指定用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクにお申し出ください。

1 1. 施設使用上の注意

< 開場時の注意 >

- (1) 選手および付添者の入退場は、会場2階正面入口となります。入退場時に「IDカード・付添票」を提示してください。提示のない場合は入場できません。
- (2) 開場時チーム関係者が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。
- (3) 前日から入場口に並ぶことはできません（当日の朝5時以降可）。

< 施設使用上の注意 >

- (1) 観覧席等は、各チーム譲り合って利用してください。毛布・シート・荷物等による観覧席の場所取り（イスの確保）は禁止です。イスの上や横に「チーム名入りの紙」「小荷物」等を置いている場合は、場所取りと判断します。この場合は、会場係が注意しますので指示に従ってください。ポールによるのぼり旗（チーム旗）は、禁止とします。会場内では、警備員・競技役員の指示に従ってください。
- (2) 観覧席の最前列は転落防止のため使用禁止とします。最前列には入らないようお願いします。
- (3) 観覧席裏側通路へシートを敷く場合は、窓側からラインまでの範囲で譲り合ってください。
- (4) 更衣は必ず更衣室を使用してください。プールサイド・更衣室以外を水着で通行することもご遠慮ください。
- (5) 更衣室のロッカーは数に限りがあるため、ロッカーは貴重品保管用として使用します。個人での使用はできません。更衣室は更衣のみの利用とし、更衣後の荷物等は各自で管理をお願いします。貴重品保管用ロッカーの使用を希望するチームは、別紙「貴重品保管用ロッカーのご案内」を確認のうえ、お申し込みください。盗難等については一切責任を負えません。最近特に、各競技場における盗難事故が多発していますので注意してください。
- (6) 館内で撮影を希望する場合は、撮影許可証が必要です。別紙「撮影許可申請書の提出について」を確認のうえ、お申し込みください。
- (7) プールサイドならびに更衣室は、**はきもの厳禁**です。**はきものは階段下などに放置せず、各自で袋などに入れお持ちください。**また、飲食もできませんので、観覧席・ロビーでお願いします。
- (8) 館内の通路は水にぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。
- (9) マスターズスイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。ごみ等は、各自でお持ち帰りください。
- (10) 以下のことは禁止します。
 - ① 火気の使用
 - ② 喫煙（喫煙は指定の場所のみ）
 - ③ 会場内外でのテープ類、くぎ、画びょう等の使用
 - ④ ピン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
 - ⑤ 会場内電源を使用しての電気機器の充電

※ 会場利用には、P4「3. 会場案内図」を参照してください。

12. 健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
水分不足には十分注意し、こまめに水分補給をしてください。
- (2) 会場内で、体調不良や怪我をした場合は、医務室にて応急処置を行います。
医務室はプールサイドB側招集所奥、救護席は本部席横です。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 別紙「レース前の安全確認」は必ず選手全員が確認してください。
- (5) マスターズ水泳キーワード9の実践をお願いします。
- (6) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

マスターズ水泳キーワード9

マ マイペース ゆうゆう大きな ストローク
ス 進んで受けよう メディカルチェック
タ タイムより 楽しい水泳 健康づくり
| (ア) 頭を使って 泳ぎの工夫
ズ ずっと前の 若さと力 あてにせず
す 睡眠 食欲 体調チェック
い いつも練習 あってこそ 楽しいレース
え エイここで 退く勇気が 大人の水泳
い いい笑顔 気力も充実 輝く高年

公益財団法人 日本水泳連盟医事委員会
日本水泳ドクター会議
一般社団法人 日本マスターズ水泳協会

13. その他

- (1) 本大会の記念Tシャツ、スイムキャップ等水泳用品を2階大会記念品販売所にて販売します。
- (2) 大会期間中は忘れ物のないように毎日確認してください。忘れ物は、2階大会受付にて大会期間中は保管していますが、**大会終了後1週間で廃棄処分します。**
- (3) お申し込み時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万一の際に実行委員会で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
 - ① 責任者が会場へ同行される場合
出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
 - ② 責任者が会場へ同行されない場合
大会当日、緊急時に選手のご家族等に連絡が取れるよう準備してください。※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (4) 大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (5) 大会当日、社会情勢ならびに天変地異等の不可抗力により中止になった場合は、「参加章（バッジ）」「プログラム（申し込み分）」はチームへお渡ししますが、申込料は返金できません。
- (6) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて
本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。
 - ① 個人情報
 - ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
 - ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。
 - ② 肖像
 - ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
 - ・ マスターズ水泳の普及活動のために各種媒体に使用します。
 - ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。
- (7) 競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

撮影許可申請書の提出について

各大会におきまして選手を不当な目的で盗撮する事件が頻繁におきています。特に最近はマスコミでも報道されているように赤外線カメラを使用するなど手口も巧妙かつ悪質となっているケースが多くみられます。こうした不祥事を防止するために、本大会におきましては撮影許可の申請を行わない者はビデオ、カメラ、携帯電話等での撮影を禁止することにしました。

つきましては貴チームの関係者で、本来の目的による撮影を希望する方は、下記事項を了承のうえ、撮影許可申請書に必要事項を記入し、撮影許可申請デスク（大会受付）に提出してください。

記

<確認事項>

- ・ 本来の目的による撮影以外には発行することはできない。
- ・ 撮影許可を証明するゼッケンを着用して撮影することを条件とする。
- ・ 撮影許可申請書と引き換えに許可を証明するゼッケンを貸し出す。
- ・ 撮影許可申請書は、大会実行委員会発行のものを各チームでコピーして使用すること。
- ・ 各チームで撮影許可申請書発行簿を作成し、申請状況を把握すること（書式は各チームによる）。
- ・ 撮影許可申請書を提出した場合であっても、アリーナ内・更衣室内での撮影は禁止する。また、赤外線フィルター・赤外線装置を使用しての撮影は禁止する。なお、機材や映像の点検をさせていただきますことを撮影許可の条件とする。
- ・ ゼッケンは撮影許可申請デスクに大会終了までに返却すること。
- ・ 返却の際、返却確認書を受け取り、大会終了後1ヶ月の間保管すること。
- ・ 返却なき場合、紛失・破損・汚損等の場合は、実費として2,000円を徴収する。
- ・ ゼッケンの申請者以外への貸し借りは固く禁止する。必ず申請者本人が返却すること。
- ・ 私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受ける必要がある。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権侵害となるので注意すること。

以上

----- きりとり -----

<ジャパンマスタース2017>

No. _____

撮影許可申請書

使用日：2017年 7月 日

氏 名			
	関係	コーチ・選手・家族・親戚・その他（ ）	
チームID	—	チーム名	
住 所			
電 話 番 号			
機 種	ビデオ・カメラ・携帯電話・その他	機 種 名	

使用後は、大会終了日までに必ず返却します。

責任者署名 _____

* コピーして使用してください *

貴重品保管用ロッカーのご案内

貴重品保管用のロッカーとして、チームに1日1個の鍵を貸し出します。ご希望のチームは下記の「貴重品ロッカー使用申請書」に必要事項を記入のうえ、大会受付に提出してください。ロッカーは数に限りがありますので、お使いいただけない場合があります。

使用の際は下記の事項に従ってください。

<確認事項>

- ・ 鍵の保証金として2,000円をお預かりします。2,000円は鍵の返却時にお返しします。
- ・ 貴重品保管用ロッカーは使用申請したチームのみ使用できます。
- ・ 競技終了後ただちに返却してください。必ず申請者本人が返却してください。
- ・ 大会当日に鍵の返却がない場合は、保証金は返却しません。また、紛失・破損の場合は、5,000円をお支払いいただきます。
- ・ 鍵は2日間以上使用される場合も毎日必ず返却してください。
なお、返却の際は必ずロッカーを忘れずに施錠し、返却してください。
- ・ つり銭はありません。保証金は必ず1,000円札2枚を用意してください。
貴重品保管用ロッカー設置場所：男女更衣室の指定ロッカーを利用してください。
更衣はできますが、更衣後の荷物は一切置けません。状況によっては会場係が撤去します。

※ロッカーの鍵には鍵式と暗証番号式の2種類があり、鍵式より優先して貸し出します。
暗証番号式をご希望のチームはお申し出ください。

----- きりとり -----

<ジャパンマスタース2017>

貴重品ロッカー使用申請書

※チームに1つに限ります。

主催者記入欄				
	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)
ロッカーNo.	鍵式 暗証番号式	鍵式 暗証番号式	鍵式 暗証番号式	鍵式 暗証番号式

上記<確認事項>を了承のうえ申請します。

※太枠内を必ず記入のこと。

チーム名				
チームID	—	氏名		
住所				
電話番号	クラブ・自宅・会社		日中連絡先	

鍵は使用後必ず毎日返却します。

責任者署名

付添票について

近年、各競技会におきまして盗難が多発しています。盗難防止のため一般の観覧者の入場は一切お断りしています。本大会では選手にはIDカード（本人の写真を貼付のうえ持参すること）、役員には競技役員章、引率・応援者用に付添票を1枚同封しています。同封の付添票では不足の場合（引率・応援者分として）は、チーム責任者の管理のもと、下記にチーム名・チームID・チーム責任者名を記入のうえ、必要な方にお渡しください。当日入口前に設置している入場チェックデスクへ下記用紙をご持参いただければ付添票をお渡しします。記入のない場合は入場できませんので、引率・応援者の方にお知らせくださいますようお願いいたします。

以上

-----きりとり-----

<ジャパンマスタース2017>

No. _____

引率・応援者入場受付用紙

2017年 7月 日

お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	
応援する選手のお名前	
応援する選手との関係	コーチ・家族・親族・友人・その他（ ）

チーム責任者記入欄

チ ャ ム I D	—
チ ャ ム 名	
チーム責任者署名	

<*コピーして使用してください*>

※コピーして使用してください(A4サイズ 白統一 裏紙不可)

変更

リレーオーダー変更届

(この大会の個人種目に全員が申し込みをしていなければなりません)

大会名	ジャパンマスターズ2017		
期日	2017. 7.	会場	東和薬品RACTABドーム

チームID	0	チーム略称	
申込責任者		エントリータイム	分 秒

出場種目		
プログラムNo	組	レーン
女子	男子	混合
4×25m	4×100m	フリーリレー
4×50m	4×200m	メドレーリレー

第1泳者	ID		女・男
	氏名		<暦年齢> 歳
<登録者シール貼付可>			
第2泳者	ID		女・男
	氏名		<暦年齢> 歳
<登録者シール貼付可>			
第3泳者	ID		女・男
	氏名		<暦年齢> 歳
<登録者シール貼付可>			
第4泳者	ID		女・男
	氏名		<暦年齢> 歳
<登録者シール貼付可>			
合計 年齢			歳

リレー区分	119歳以下	120～159歳	160～199歳	200～239歳	240～279歳	280～319歳	320～359歳	360～399歳
-------	--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

自動計時	分	秒
手動計時	分	秒
記録	分	秒

※網掛け箇所以外全て記入してください。

(一社)日本マスターズ水泳協会

※ 下記事項に該当する方のみ提出が必要です。該当しない方は提出の必要はありません！ ※

申告日： 2017 年 月 日

出場申告用紙

大会名	ジャパンマスタース2017				会場名	東和薬品RACTABドーム									
チーム名					登録番号										
フリガナ			年齢	チームID				個人ID							
氏名	女・男		歳	0											

① 出場にあたって申告が必要な項目（□にチェックをしてください）

- テープ等を使用する（大会当日審判長の許可が必要です）
- 障がいをお持ちの部位による泳法違反を回避したい（大会当日審判長の許可が必要です）
- 障がい等により招集後も介助者の同行もしくは補助具の使用が必要
- リレーの第2泳者以降が水中スタートする
- その他

※ 詳細な申告内容は ②申告内容 に記入すること。

② 申告内容

③ 出場種目

	プログラムNo.	種目	組・レーン	
1	No.	m	組	レーン
2	No.	m	組	レーン
3	No.	m	組	レーン
4	No.	m	組	レーン
5	No.	m	組	レーン
6	No.	m	組	レーン

※ 競技会申し込みの際に申告する方は組・レーンは空白で提出してください。

※ 競技会当日申告する方は組・レーンまで記入のうえ、提出してください。

※ 競技会当日、審判長による許可が必要です。

受付者		審判長			
-----	--	-----	--	--	--

◆参加者の皆様へ必ずお渡しいただき、下記「安全確認」の実践をお願いします。

(公財)日本水泳連盟医事委員会
日本水泳ドクター会議
(一社)日本マスターズ水泳協会安全委員会

事故が起こってからでは遅すぎる・・・

「レース前の安全確認」

近年、マスターズ水泳での重大事故が見られます。原因は、選手の過信や無理だと思われます。健康な人でも、体調は日によって違うものです。睡眠不足、二日酔い、風邪ひきなどがあるとなおさら。泳ぐ前には身体の調子を自分で確かめましょう。そして、ちょっとでもおかしいと感じたら、迷わず棄権しましょう。以下の項目に1つでも当てはまる場合は、事故が起こってもおかしくありません。棄権をお勧めします。マスターズ人生を長く続けるために！

<近年起こった重大事故例>

1. 65歳男性

レース出場前に背中に凝りがあり痛みも少しあるので、医務室にてドクターに相談した。診断の結果、緊急性の高い疾病が疑われ、直ちに病院へ救急搬送され、大動脈解離で入院となった。

2. 55歳女性

レース後、気分が悪くなり動けなくなった。ドクターの呼びかけにも朦朧としているため病院へ救急搬送された。高血圧の既往があり、睡眠不足のうえに朝食を摂取しないまま競技に臨むというコンディション不良が原因だった。

<大会までの体調は大丈夫ですか？>

1. 定期的な練習を必ず行いましょう。練習をせずにいきなり大会に出場すると思わぬ事故が待っています。日頃の練習があつてこそ楽しいレースができます。
2. 特に風邪、睡眠不足、二日酔い、疲労には気をつけて規則正しい生活を心がけてください。

<レース前に守っていただきたいこと！>

1. アルコールは禁物。前日に飲み過ぎると血液の濃度が高くなり、レース中の心拍数と血圧が普段よりも上がります。また、血液が濃くなる時には障害や事故が起こりやすくなります。
2. 睡眠不足も同じこと。まずはベストの体調で出場してこそ、楽しくそしてベストタイムにつながります。
3. 事故予防標語「マスターズ水泳キーワード9」の実践をお願いします。

<レース当日の体調確認>

1. 準備体操・ウォーミングアップは、十分に行いましょう。
2. タイム、順位にこだわらず、マイペースで無理せず泳ぎましょう。
3. もし体調が悪いときは、棄権しましょう。
4. レースが終わった後も、必ずクーリングダウン。水に体を浮かせ、ゆっくり泳ぎましょう。
5. 水分不足に注意。長い時間屋内プールにいと、結構汗をかいているものです。こまめに水分をとりましょう。

<こんな時は要注意！>

- ◎ 呼吸が苦しい、胸が苦しい・痛い、疲労感（体がだるい）、めまい・吐き気、筋肉・関節の痛み等がある時は、レース前に必ず医務室でドクターに相談してください。

「 医務室」は、B側招集所奥 の部屋です。

ドクターおよび看護師が待機しています。当日の体調相談もOKです。